

One To One Club 主催



無料臨床セミナー

第1弾

CBCTやマイクロスコープをフル活用した歯内療法 ～3次元的画像診断の勘所と実際～

▶ 配信期間 2021年4月21日(水)12:00～5月9日(日)

近年、様々な情報が簡単に入手・共有できる高度ネット社会において、徐々に患者サイドの意識、需要が高まっている。CBCTやマイクロスコープの導入を悩まれる歯科医師も多いのではないだろうか。CBCTによる3次元的画像診断とマイクロスコープを活用することにより、間違いなく術前診断と治療精度のレベルが向上し、以前では救えなかったような歯でも拡大明視下で戦略的に治療することも可能になってきていると感じる。とくに補綴前処置として避けて通れない歯内療法分野は、従来法では一般に成功率が低く、これらをうまく活用することにより、間違いなく世界観が変わるといっても過言ではない。しかし、導入すればすぐ思うようにフル活用できるといった簡易なものでもなく、ある程度の勘所やラーニングステージがあるのも確かである。今回は数多くの症例供覧を通じてその辺りのポイントを共有できれば幸いである。

第2弾

CBCT画像診断から考える歯周外科の治療戦略 ～マイクロスコープやErYAG Laserを用いた歯周外科の実際～

▶ 配信期間 2021年9月13日(月)12:00～9月26日(日)

我が国では歯科用CBCTは2000年の薬事承認、2012年の一部保険収載を経て、口腔外科領域のみならず現在様々な治療分野で幅広く活用されている。中等度から重度の歯周疾患罹患歯の術前診査においても、もはや不可欠と言えるだろう。骨欠損の範囲や歯根形態、分岐部病変などの3次元的イメージを術前に構築できることは、歯周外科処置における切開線のデザイン決定や、治療戦略の検討などにおいても大いに役立っている。また日進月歩で進化してきた歯周組織再生療法においても、マイクロスコープやErYAG Laserが手放せないツールとなっている。深い骨欠損内の不良肉芽や硬い縁下歯石のデブリドメントには大変な時間と労力を費やすが、これらを利用することでより効率的に精度を高めて施術することができると感じている。今回は症例供覧を通じて、CBCT画像から考える治療戦略と実際についてお話させていただきたいと思う。



講師

重岡 修司 先生

京都府開業

2003年 徳島大学歯学部卒業
 2003～2010年 滋賀・京都 一般歯科医院勤務
 2010～2016年 四条烏丸ペリオ・インプラントセンター勤務
 宮本泰和先生に師事
 2016年4月 御所南しげおかデンタルオフィス開院

【学会および所属スタディーグループ】
 日本臨床歯周病学会 認定医 関西支部理事
 日本歯周病学会会員
 日本歯内療法学会会員
 日本口腔インプラント学会会員
 日本審美歯科協会会員
 JIADS Study Club OSAKA

参加費 無料

定員 50名 ※定員になり次第締め切ります。
 ※セミナーは開催定員に達しない場合は中止する場合がございますので予めご了承ください。

お問合せ 株式会社モリタ 京都支店 セミナー係
 京都市中京区麩屋町通三条下ル
 TEL 075-241-3131 FAX 075-241-3322
 受付時間：9時～17時(土曜・日曜・祝祭日除く)

お申込みはWEBからお申込みください。

CBCTやマイクロスコープをフル活用した歯内療法

第1弾 ▶ 配信期間 2021年4月21日(水)12:00～5月9日(日)

CBCT画像診断から考える歯周外科の治療戦略

第2弾 ▶ 配信期間 2021年9月13日(月)12:00～9月26日(日)

https://f.msgs.jp/webapp/form/11049_ziq_285/index.do



携帯電話・スマートフォンからもお申込みいただけます。